



グランシップマガジン

[ジー] vol. 42

GRANSHIP magazine

SPRING 2009



開館10周年記念号

SPECIAL 2

グランシップ これからの開館記念イベント

10周年のとくべつ。

series わが羅針 第42回

村松 友視

SPECIAL 3

PLAY BACK 10 YEARS

抄録 10年史。

次世代を創る顔②

インテリアデザイナー 武井 ヒロヨシ

しずおかアーティスト・リレー ②④

彫刻家 戸塚 秀三

SPECIAL 1

グランシップ開館10周年 巻頭記念対談

静岡県知事

グランシップ館長

石川嘉延×田村孝子

10th Anniversary
上質を、身近に。

GRANSHIP
静岡県コンベンションアーツセンター



ダイニングレストラン なの蔵 撮影/ Yellow Seeds
 都内を中心に全国で活躍。写真は静岡県浜松市内にある昭和初期の蔵が残る和ダイニング。このほか、HP (<http://pulse-t.jp>) で彼の作品を見ることができる。

インテリアデザイナー
武井 ヒロヨシ

人も街も変わってゆく。
 数年先の日常となじむ空間が理想です。



たけい ひろよし

高校卒業後、東京テクニカルカレッジで空間デザインを学ぶ。1995年内装設計会社に勤務し、物販、飲食店を中心に数々のプロジェクトに参加。その後、設計事務所、空間プロデュース会社を経て、2008年(株)パルス設立。現在、インテリア(飲食店や物販店、ホテル、ショールームなど)から建築(住宅、集合住宅)、プロダクトまで手がけ、その作品は多数のメディアにて紹介されている。JCD(日本商環境設計家協会)デザイン奨励賞、YO no BIデザインコンペ入賞、海南国際デザインコンペ入賞、WORLD SPACE CREATORS AWARDS 2007入賞ほか。1974年静岡県磐田市生まれ。

住宅メーカーのチラシを見て、子どもながらに実家の住空間に疑問を抱いたという。そして、そんな火種を胸に上京するも、興味はやがて日常的空間から非日常的な空間へ。「二十代の頃は数日ご飯を我慢してホテルのラウンジに行ったりもしました」

独立後の最初の仕事は「指名が嬉しくてタダで受けた」といい、仕事が話題になるより「お店が繁盛

してくれるほうが圧倒的に嬉しい」と語る彼。

現在、物販から飲食、キャンペーン店舗まで多様なジャンルで活躍。自由な発想と洗練された空気感を生み出す彼が目指すカタチとは、「数年先の日常となじんでいる空間」だ。同時に未だデザインが及んでいない病院や福祉施設が気になっている。「空間の力が大きく働く場所に関わってみたいですね」



Contents

次代を創る顔④ 2
インテリアデザイナー 武井 ヒロヨシ

しずおかアーティスト・リレー④ 3
彫刻家 戸塚 秀三

SPECIAL 1 特集 4
グランシップ開館10周年 巻頭記念対談
静岡県知事 グランシップ館長
石川嘉延×田村孝子

SPECIAL-2 小特集 10
グランシップ これからの開館記念イベント
10周年のとくべつ。
夏は、アートと音楽とダンス。
「105人の時間展」について 熊坂 出
冬は、オペラとアートと写真。
オペラ「椿姫」について 鈴木 忠志

series わが羅針 第42回 15
村松 友視
「静岡の、ええ加減。」

SPECIAL 3 19
PLAY BACK 10 YEARS
抄録 十年史。
観世流二十六世宗家 観世 清和

coming soon I 25
原 信夫とシャープス&フラッツ ファイナルコンサート

coming soon II 26
グランシップ こどものくに ～楽(らく)がきDEアート～

information a-go-go 28~38
●公演情報
●Just Finished! / 「ニューイヤーコンサート」 ●プレゼント
●友の会のご案内 ●表紙アーティスト / 望月道陽
●TOPICS ●フロアガイド
●サポーター座談会 READER's VIEW Editor's room

表紙アート●望月 通陽 作品タイトル：『白い虹』
人と会っても退屈でなりません。仕事場こそが世界です。ここでは嘘も本音もなく、争いもお世辞もありません。やむを得ず置いた電話も、ベルが鳴れば座布団を掛けてしまうのだし、およそ私たち共有の時代というものに無関心です。そのかわり焼き上がった鑄造ガラスの石膏を割れば、神話の動物や人物達が次々と現われ、私の手を引き、背中を押し、悠々たる世界に導いて、私を決して退屈させません。
(2009年制作)

彫刻家
戸塚 秀三

次回
人形作家
瀬川 明子さん



素材/プラタナス 250cm h

私の作品のテーマは、「人間」です。

表面的な動作や表情の表現ではなく、奥深い「心の姿」を表わしています。

難しい心理的要素ではなく、日常生活に見られる、生き生きとして躍動する

人間の「心の流れ」を自然の素材(木)によって表現しています。

トツカ シュウゾウ●1944年静岡県生まれ。木を素材とした立体作品を手掛ける。フランス領ピレネー山脈の山麓Sainte-Colombeのスタジオを拠点に、ヨーロッパ各地にて発表を続ける。2002年、文化庁特別派遣芸術家在外研修員に認定。日本美術家連盟会員、モダンアート協会会員

静岡県知事

石川嘉延

平成11年3月13日、その扉は開いた。そして、10年。これまでを活かす、これからのために。節目の春に先立ち、その対談は行われた。

田村孝子

グランシップ館長

この10年、グランシップが実現したこと。実現途中のこと。

——今年、グランシップは開館から10年目の春を迎えます。日本や静岡県にとって、それはどのような10年だったと思いますか。
知事：経済用語にGNPという言葉がありますが、それに対して10年ほ

ど前、GNC（*1）という言葉が打ち出されました。文化の持つ意味合いをもう少し認識しようという、提唱のようなものが生まれたんですね。それまで経済が豊かになるとそれに付随して文化が豊かになる、あるいは経済力をバックにして公的セクターが文化政策に力を入れるということが通念としてありましたが、そうでは

なくて、とくに成熟した社会ではむしろ文化が経済を支えたり、活性化させるものになるのだと。GNCとはそうした考え方から生まれた動きである、私は受け止めました。事実、日本やその一地域である静岡県をみると、なるほどと思えるフシもいろいろ出てきていましたからね。そこでそうした視点から静岡県の文

*1 GNC=Gross National Coolの略。COOLは「カッコイイ」の意で、GNP=「国民総生産」との対比から「国民総文化力」と訳されることもある。

館長「オーケストラを円形に配置するなんて、

東京ではたぶん武道館でしかできない。
しかも総勢300人の大オーケストラです。
あれは静岡県だからできたことです。」



化行政を見つめ直してみると、県民が文化に親しむために公的支援をするという方ではなく、地域の文化力を磨き高めていく方向へとシフトすべきではないかと、そういう考え方も生まれてくる。ならばグランシップ

何があるべきかということをきちんとお考えでいらつしやる。これは日本ではまれなことですよ。実際に静岡県舞台芸術センターというものができて、私どもが毎日東京から通うようなものを提供し、世界にも発信して

さまざま評価の仕方があると思います。稼働率、来館者数など、数字として目に見える部分についてはいかがでしょうか。知事・利用率ということでは随分健闘しているんじゃないでしょうか。(*2) 運営費や維持管理費をすべて利用料で賄えるわけはありませんが、それは静岡県の人口や地域社会の体力から考えて、この種の施設ではある程度やむを得ないことであり、むしろ予想以上の実績を残しているんじゃないかと思えますね。

館長「開館当初に比べますと、確かに多くの方に利用していただけるようになったと思います。そもそもこのグランシップという大きな建物は、文化の発信地であり、舞台芸術センターの拠点であるだけではないのです。知事…そうなんです。ここはあくまでもコンベンションアーツセンターであって、文化のほかに、コンベンションを活性化するという使命も担っている。なにしろ静岡県にはそれまで大規模でしかもグレードの高い学会や見本市、博覧会などを開催する場所がありませんでしたからね。そういう意味でこの10年間に大きな、それも高度で国際的な催しが開かれたことは喜ばしいことです。(*3) おかげでこの存在は広く認知されつつあり、その効用も発揮し始めていると思いますね。一方、文化的な面では、二代の館長さんの下で地域の文化力を上げるような主催事業を数多くやっていたことができました。そちらについては県民の方にもよくご理解いただいているのではないのでしょうか。

プをそういうところにしよう、ここを中心にごこれぞというものを起爆剤にして世界に訴えかけていこうと——県としてはそういう狙いをもって、この10年を進めてきたつもりです。成果としてはまだ十分とはいえないかもしれませんが、部分的にはそれらしき存在感を発揮し始めているのではないかと思っています。

こられた。これも本当に素晴らしいことです。しかし、一方でそうしたことをどれだけ県民の方が理解されているのだろうかという部分では、正直、物足りなさも感じておりました。先ほどのGNCの話ではないですが、県民の皆様がどれだけ文化の大切さ、文化の力を信じておられるのかという点、私はまだまだではないかなと思っております。そして、その理解を深め、静岡県の文化政策に目を向けていただけるような素地を耕していくのが正にグランシップの役目ではないかと。それを今、やり始めたという

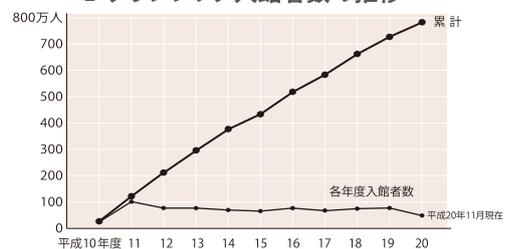
—グランシップのこれまでにについては、

材者、ジャーナリストとして静岡県を見てまいりましたので、そのあたりはよく存じているつもりです。二代にわたる知事が国にもできないような文化政策をお取りになり、静岡県に

—グランシップのこれまでにについては、

—グランシップのこれまでにについては、

*2 グランシップ入館者数の推移



*3

2004年と2007年に開催された「世界お茶まつり」では、それぞれ来場者10万人を超えた。学会や式典、展示会、ダンスイベントなど、コンベンション催事の需要は年々高まっている。



印象深いのは、やっぱり ここだけ、ここならではの企画。

—そうした自主事業の中でとくに印象に残っているものといえますか？

知事…いろいろありますが、平成11年に始まった『連詩の会』(*4)もその一つですね。最近、思いついたようにあちらこちらで開かれますが、継続してやっているのはここだけ。注目され、評価もされ、なおかつ県民が詩の芸術性にふれて、刺激も得られる。着実に静岡県県の財産になりつつあると思います。

館長…グランシップならではといえ、『トレインフェスタ』(*5)もそうで、

知事…あれは本当に面白い試みですね。

館長…オーケストラを円形に配置するなど、東京では多分武道館でしかできない。日本全体でもほとんど不可能でしょう。しかも総勢300人の大オーケストラですから。実は、静岡県はアマチュアオーケストラ連盟に属しているオーケストラが全国で4番目に多いのです。

知事…ほほう、そうでしたか。

館長…つまり静岡県だからできたのです。あれだけ大規模なオーケストラは、日本ではおそらく初めてだと思えます。AOIの芸術監督のお話ですと、県内の方はオーケストラ音楽を、



知事「田村さんが館長になられてから、
とくに音楽の分野で
面白いものができるような気がしますね。」

すね。こちらにも似たようなものが全国にあります。この施設を活かしたものになっていないと思います。大ホール・海は、あの大空間だからこそできることがあります。それがまさに去年から始めた『音楽の広場』(*6)なのですが。

聴きたいけれど、それに触れる場がないとおっしゃる。これだけアマチュアのオーケストラがあるにも関わらず、本当の意味で自立しているプロのオーケストラが存在していないというのは残念ではないかなと。そんなオーケストラが存在したら、子どもたちが音

楽に触れる機会はもっと多くなると思うのです。将来はそこを目指して活動していきたいと考えていますが。**知事**…田村さんが館長になられてから、とくに音楽の分野で面白いものができるような気がしますね。そうすると、問題は施設の機能ですが…。舞台芸術センターの拠点である静岡芸術劇場については演劇専用の特化してつくりましたので、高レベルの利用に耐える高品質なものになっています。しかも専門の劇団を抱えている。期待通りの活動が継続できています。一方、それを除く施設では、コンベンションについては先ほど申し上げたように、手狭にはなりつつあるものの、これはこれで成功していると言っている。けれどもその他の文化的事業においてはグランシップが施設としてどこまで機能しているかという点、決して十分ではない場合があるような気がします。それぞれの分野の方から見ると不満が残ることがあるという感じがしますね。とくに田村館長と話していると、音楽に関しては検討の余地があるなど。(笑)多目的のままでもいいのか、もっと狙いを絞ってテコ入れすべきか、迷うところですね。そこは難しいけれども、きちんと判断しなくてはと思っています。

館長…多目的でありつつ、可能な限りベストに整備して欲しいとお願いしています。多目的に不備というのが一番困りますので。既にこれだけの施設がありますから、ここを活用しながら、手を入れていく努力はやはり必要だろうとは思っております。

*6 音楽の広場

昨年8月10日から始まった真夏の音楽祭。約300人の大オーケストラを円形に配置するなど、天外的発想とスケールが話題を呼んだ。(→P22参照)



*5 トレインフェスタ

毎年5月に開かれる日本最大級の鉄道イベント。鉄道模型を中心にNゲージ体験、ミニ列車乗車会など。鉄道ファンをはじめ、親子らが全国から詰め掛ける。



*4 しずおか連詩の会

静岡県出身の大岡信をさばき手に回を重ねること9回。今やグランシップの秋の顔の一つ。(→P23参照)



知事

「お金を使ったけれども意味がなかった、では済みませんから。やはり戦略性をもって進めていくことが大事だと思っています。」

上質な文化にふれる機会を、次代を担う子どもたちに。

知事…東京というのは、日本中の人をターゲットにした、あらゆるレベルのものがありますよね。音楽専用ホールも、劇場も、コンベンションホールも、それぞれに特化してうらやましいくらいの高機能が装備されている。一方、静岡は全部を整えられませんか、やはり的を絞ってやらなければならぬ。逆的に絞ってやれば、東京圏をターゲットにしたものをここでやることができます。静岡の人もハイレベルなものを自分たちだけでなく、東京の人にも負担してもらって享受できる。そういう観点から、『連詩の会』や『音楽の広場』のような何か、東京にはない、しかし東京の向こうを張れるものが必要ですね。

知事…かつて西洋では王様が宮廷

楽士や絵師を抱えて、それが西洋音楽、西洋絵画の出発点になった。日本のお茶の文化も戦国大名というパトロンがいたから生まれたわけですね。パトロンはあらゆる文化をサポートしているのではなく、自分が好きなのを徹底してのめり込んだ。だからこその文化を成熟させたのだとも言えます。ところが現代はそういうパトロンがいなくなると、その代わりに行政が担わなくてはならなくなりました。一方、今の行政主体を考えると、知事にしろ、総理大臣にしろ、その人の趣味趣向で絞り込むというわけにはいきません。任期と人気がありますからね。(笑)しかもまんべんなく公平にというのが行政の役目ですから。そこが文化の振興と行政の結び付きの難しさなんです。

館長…そうでなくても文化というのは生き死にに関係ない、経済的効果が計りかねるということ、なかなか皆様のご理解が得られないということはありません。それゆえ日本では、歌舞伎や能や文楽をどうやって継承していくかということについては人材育成のための研修はしてきましたのに、新しい芸術については長らく積極的ではなかった。もちろん国に創造性を限定してもらっては困るということもありますが、そうすると、だいたいの(基本計画)ではなく、目標の達成を問わない(基本方針)になります。ところが静岡県は、昨年3月に(文化振興基本計画)を(7)をお立てになりました。これは非常に先進的なことです。

*7 静岡県文化振興基本計画

総合的、効果的な文化振興施策を進めるため、政策目標や県の役割を明確にしたもので、平成20年から3年間に取組む具体的な施策を示している。



館長…でも、そういうお考えと計画があるということは、ほかの地域に

「社会的、経済的にだめな今、なすべきことは、次を支える子どもたちの創造性を養うこと、上質な芸術にふれさせること。そして、教育です。」



比べたら幸せなことだと思います。

オバマ新政権の文化政策も戦略的で、子どもたちの創造性育成のための芸術教育の充実が強調されています。

また、先日、フランスの元文化大臣、ジャックラング氏がこういう社会的、経済的にだめな時に私たちがすべきことは、次を支える子どもたちに芸術に触れさせることであると。知事がおっしゃったように創造性を養うこと、上質な芸術に触れさせること。

そして、教育ですね。アメリカでもフランスでも芸術教育に力を入れているところは、学習能力が上がっているといわれています。社会情勢が厳しいからこそやるべきだと私たちも意を強くしているところですが、県にも是非ご理解いただきたいと。

知事…もちろんです。ただ、こういうところの仕事は、偏見は別にして、少々独断的にやらないと。まんべんなくうかがって、結果的に何をやっているのか分からないというこ

とになりかねませんからね。せっかく文化的に広い視野とネットワークをお持ちの田村さんに来ていただいたのですから、ある程度のフリーハンドをもって進めていただきたいと思えますよ。ところで先ほどの子どもたちに上質な芸術に触れさせるといふ点では、既にさまざまな取り組みが進んでいるようですが。

館長…県の文化政策室と協働で実施している『中学生のための音楽会』などでは、なるべくいいものを、それも継続的に提供したいと考えています。また、ここまで足を運べない障がい者、遠隔者の方々のために、こちらでの催しに合わせたアウトリーチ活動（*8）を積極的に取り入れるよう心掛けております。グランシップの主催で宝井馬琴さんが長泉町のホールにも出向いてくださるなんてことは、もしかしたら東京ではありえないことかもしれません。鼓の大倉源次郎さんは単に鼓を教えるのでは

なく、能はなぜ今のようになったかということまで含めてひもといてくださったり、ギタリストの福田進一さんは高校生に向けて、困難に向き合ったときにどうやって乗り越えるかというのをギターを通して伝えてくださった。そういう機会を少しずつ増やしていけたらと思います。

知事…それは本当に素晴らしいことですね。

館長…私は結構ミーハーでございませぬので、（笑）できるだけいろんなものをと考えております。ただし、良質、上質であるということだけはこだわりたいと思います。

知事…県内には結構たくさんさんの公共ホールがあって、その多くが多目的ではあるけれども、いろいろ見比べればそれぞれ特色ある芸術活動に向いているものもありますよね。そうしたホールと連携して、機能を活用しあつてほしいと思いますし、その中核をぜひグランシップには担っていただきたい。アウトリーチをはじめ、活動が広がっていくことを期待しています。

館長…グランシップは県立でございませぬから、そこは広域文化施設としての役目であると思っております。市町村単位ではなかなかできにくいこともおありでしょうし、きちんと手をつなげば可能なこともあります。静岡県には公立文化施設協議会という団体もありますので、まずは県内の文化情報の分かるホームページをつくることから始めたいと思います。（笑）

*8 アウトリーチ活動

日頃、芸術や文化に触れる機会の少ない人々に対して、グランシップから出向いて働き掛ける活動。



10周年の
とくべつ。

芝生の上のギャラリィ、オープン。
時間をめぐる冒険に出かけてみない？

105人の時間展

8/1(土)~16(日) グランシップ広場 他
入場無料

熊坂出による文芸作品・映像作品を皮切りに、
県内外のアーティストたちが参加・構成するア
ートイベント。テーマは「時間」。館内外スペース
でのアーティストの作品展示に加えて、週末の
16:00~21:00には、パフォーマンス、映像、フ
ード等のイベントも。夏休みの夕暮れ、家族で
時間探しの旅はいかが？

■参加アーティスト 熊坂 出(映像)
みかんぐみ(空間構成)
いがらしろみ(フード)ほか

昨夏、ド肝を抜いた大音楽祭。
世界最大級のオーケストラ、ふたたび！

グランシップ音楽の広場

8/2(日) 大ホール・海
PM3:00開演 PM2:00開場
5/2チケット発売
全席指定 SS席 3,000円 S席 2,500円
A席 2,000円 B席 1,500円
(子どもは各1,000円引き)

昨夏、日本ではおそらく初めて、世界でも稀な
クラシックコンサートがグランシップで開かれ、
話題となった。それが「グランシップ音楽の広
場」だ。何と演奏者が300人という大オーケス
トラを編成。しかもそれを円形に配置し、その中
には客席も用意されたのだ。そうなる、俄然
気になるのは第2回目となる今年のプログラム
や趣向だが、それはまだヒミツ。唯一、ダイナミ
ックな指揮で人気のある広上淳一を迎えたこと
だけ、明かしておこう。クラシックファンにも、
クラシック未体験の人にも、それぞれに驚きと
感動がきっとある。「グランシップ音楽の広場」
とはそういう音楽祭なのだ。

■曲目 ストラヴィンスキー/
バレエ組曲「火の鳥」(1919年版)
レスピーギ/交響詩「ローマの松」ほか
■指揮 広上 淳一
(京都市交響楽団常任指揮者、東京音楽大学教授)
■音楽監督・演出 渡壁 輝



夏
は、
アーティストと音楽とダンス。

SUMMER

静岡のビッグバンド集結。
新たなジャズ・レジェンドを刻むか!?

HERE COMES THE SWINGIN' SUMMER!
グランシップ
ビッグバンドフェスティバル

8/9(日) 中ホール・大地
入場無料

真夏のジャズフェスがついに実現! 創立30余
年の静岡県ビッグバンド連盟から精鋭8バン
ドを選抜。学生から社会人まで、バラエティに
富んだ顔ぶれでグランシップの夏がスイング、
スタンダード、モダン、ラテンetc...に揺れる!
当日は入場無料で入退場も自由。ただし、よく
あるコンサートと思うなかれ。ちょっとした仕
掛けが... (秘)。

おとみち2009

8/15(土)~8/16(日) 大ホール・海
入場料 500円

グランシップ、夏、ダンスとくれば、それはもう
「おとみち」しかない。真夏の気温を数度は上
げるといわれる「おとみち」だが、開館10周年
の今年はさらにボルテージを上げそうな気配。
厳しいオーディションを勝ち抜いたアマチュア
チームによる「ダンスショーケース」では、「ワ
ールドカテゴリー」として世界のストリートダン
スも登場。屋台マーケットも並ぶなど、かなり
多国籍な2日間になりそう。さらに今年は
「ダンス イット アップ シズオカ」プロジェクト
が本格始動。(詳細は次号で!) ゲストもぜひ
お楽しみに。

◆ダンスショーケース 公開オーディション
7/19(日)・20(月・祝)

静岡最強のダンスイベントが
さらにパワーアップ!

105人の時間展」について

夏休みの子どもと、大人におくりたい。
ある少年の、時間をめぐる冒険物語。

熊坂 出

Izuru Kumasaka

1998年立教大学文学部英米文学
科卒業。2004年グランシップの
アートプロジェクト「Sing2004 &
色のむこうがわ展」に参加。黒を
テーマにした映像作品『黒の向こ
う側〜珈琲とミルク〜』を制作。同
作は短編作品として2005年「ひあ
フィルムフェスティバル」でクリエ
イティブ賞・企画賞・審査員特別賞
を受賞。後にPFFスカラシップ権に
より制作の『パーク アンド ラブホ
テル』でベルリン国際映画祭新人
賞を受賞。1975年埼玉県生まれ。

開館5周年の際には、〈色〉をテーマに
したアートプロジェクトでグランシップ初
参加。昨年、『パーク アンド ラブホテル』
でベルリン国際映画祭最優秀新人作品賞
を受賞し、10周年の節目に再び凱旋登場
と相なった。今回のテーマは〈時間〉。

「時間をテーマにした文学や映像作品は、
すでに世の中に数多くあるので敷居が高く
感じました。まず最初に思い浮かんだのが、
エンゲの『モモ』でした。」

ミヒヤエル・エンゲの『モモ』は、不思議な
力をもつ少女モモが灰色の男たちによって
奪われた時間を取り戻す冒険物語。今回、
氏はプロローグとなる文芸作品と、アート
イベントの主軸ともいえる30分ほどの映
像作品を制作の予定だが、後者は少年の
冒険物語になるという。生物学者で民俗学
者でもある南方熊楠が好きだという氏ら
しく、キノコや粘菌類の好きな男の子が登
場する。

「子どもでも楽しめるイベントという主旨
ですので、子どもを中心とした話にしよう
と。主人公は小学5年生の男の子。4年生
ほど子供でもなく、6年生ほど大人でもな
く、中途半端な年頃だからこそ成立する
物語だと思っています。既にキャストの子
供達は決まっています。とても魅力的な子達
ばかりです。今から撮影が楽しみです。」

会場は、JR東静岡駅側に広がるグラン
シップ広場。作品を寄せるのは、氏をはじめ、
さまざまなジャンルの若手クリエイターた
ち。彼らに一言メッセージをとお願する
と、「自分のことだけで一杯一杯。そんなに
偉くないです。」とやんわり。

本格的に制作に取り組むのは5月から
とのこと。

「誰にでもわかるもの、楽しめるものにした
いです。信頼しているスタッフ達に声をか
けていますし、きつといいものになると思
います。ご期待ください。」

10周年の
とくべつ。

SPACとグランシップが初コラボ&自主制作
鈴木忠志が仕掛けるオペラの罫に落ちたい！

オペラ「椿姫」

12/11(金)・13(日)
中ホール・大地

世界三大オペラの一つ、ヴェルディの
「椿姫」。世界中で上演されている演目
ながら、世界のどこにもないオペラを約束。
初コラボならではの仕掛けも必見。

- 演出 鈴木忠志
- 指揮 飯森範親
- 管弦楽 東京フィルハーモニー交響楽団
- 合唱 藤原歌劇団合唱部

しずおかのお茶が
才人の器と出会うとき。

何必館・京都現代美術館所蔵 北大路魯山人展

12/11(金)～2010.1/11(月・祝)
6階展示ギャラリー

書画や陶芸などで芸術家としての才能を開花
させ、美食家としても知られる北大路魯山人。
若い世代の中には人気コミック「美味しんぼ」
でその名を知った人も多いかもしれない。折し
も没後50年にあたる今年、京都何必館コレク
ションより陶芸、書画、絵画、篆刻など、彼の代
表作約200点がグランシップにお目見え。なか
でも「茶と花と食」をメインテーマとした、「茶」
どころ静岡と「魯山人の器」のコラボレーション
は見モノ。唯一無二の大展覧会をお見逃しなく。

オペラとアートと写真。

冬は、WINTER

静岡の魅力

第5回フォトコンテスト

- 表彰式 2010.1/17(日)
- 山本晋也による記念トークショー
2010.1/17(日)
- 入賞作品展 2010.1/17(日)～31(日)
6階展示ギャラリー

◆同時開催 戦後静岡の風景展(予定)

ふとした景色の中に感じる「静岡」、自分が好き
な「静岡」、忘れかけていた「静岡」など。〈静岡の
魅力〉の新発見・再発見をテーマにしたフォトコ
ンとしてすでに定着。審査員も静岡県出身の写
真家大竹省二を委員長にそうそうたる顔ぶれ。

■審査員 大竹省二・藤井秀樹・沼田早苗・
織作峰子・山本晋也・徳川慶朝・天野一・
田村孝子

■テーマ 「静岡の魅力」部門 静岡県内の風景
や名所、自然、祭り、人物などを撮影した作品。
「静岡と交流」部門 日本全国や世界で撮影さ
れた、静岡と関連性のある作品。

■応募締切 8/31(月)必着

■応募先・問合せ 〒420-0852 静岡市葵区
紺屋町15-4 静岡新聞SBS紺屋町別館(株)SBS
プロモーション内「フォトコンテスト事務局」
TEL 054-254-2056 FAX 054-252-5436
(月～金 9:30～17:30/土日祝を除く)
E-mail:photo@sbs-promotion.co.jp

静岡人の琴線にふれる一枚に出会えるか。
ただ今、作品受付中！

オペラ「椿姫」

について

歌を聴かせるだけならCDでいい。
登場する人も、舞台そのものも粹で魅力的でなければね。

Tadashi Suzuki

演出家。1966年に別役 実らとともに早稲田小劇場 (SCOT) を旗揚げ。76年に富山県利賀村に本拠地を移した後、82年より世界演劇祭「利賀フェスティバル」を毎年開催。また、俳優訓練法 (スズキ・メソッド) の考案者としても知られる。岩波ホール芸術監督、水戸芸術館芸術総監督を経て、95年より一昨年末まで静岡県舞台芸術センター (SPAC) の芸術総監督を務める。39年静岡県静岡市 (旧清水市) 生まれ。

鈴木忠志

鈴木氏が『椿姫』が好きだということは、なんとなくわかっていた。SPACでの『シラノ・ド・ベルジュラック』でも、わざわざ『椿姫』の曲を使っていたほどだから。が、演出家として今回、『椿姫』を選んだ理由について、あらためて訊いてみた。「理由は三つあって、まず、曲がいい。とくに前奏曲が好きですね。次に登場人物が少ない。これは予算の問題もあるけれど、主人公がハッキリしているのがいいんです。そして、三つ目が日本人好みだということ。原題『ラ・トラヴィアータ』には、道に外れた人、という意味があるけれども、これは社交界に精神的になじめなくて、そのルールから外れて純粹に生きようとする人の話です。最後には女の心意気を見せながら死んでしまう。歌舞伎でも遊郭に行つて恋愛して心中する話があるでしょう。日本人は悲運に沈んだ人に心を寄せるところがありますからね。」氏の構想によると、舞台は社交界ではなく、暗黒街のクラブ、あるいはレストラン。若い作曲家がマフィアに身を置く美しい女性に恋をして、店の一角で恋の物語を音楽として書き綴っていくというもの。

「作曲家はヴェルディ自身なのかもしれませんが。本家とは設定を変えています。音楽は『椿姫』をしっかり歌ってもらいます。だけど、歌だけを聴かせるならCDでいいわけで、オペラとしてお見せする以上、登場人物は歌が上手いだけじゃなくて、見た目も魅力的でなければね。」

今回はグランシップ (静岡県文化財団) と SPAC (静岡県舞台芸術センター) の初コラボ作品。会場は中ホール・大地だが、その向こうは SPAC のホームグラウンドである静岡芸術劇場。二つを隔っていた扉が開館10周年目にして初めて開く。

「何十メートルもの奥行きがあるから、馬車とまではいかないけれど、ハレレイくらいは大丈夫かな。(笑)」

いづれにしろ、斬新で緻密な演出と、実力派を揃えたキャスト、最高のスタッフを得ての本格オペラ。グランシップ史に残る作品となりそうだ。

村松

友視

静岡の、ええ加減。

「好きな静岡の方言というと、へええ加減かな。いい加減だし、よい加減だし。能にしろ、狂言にしろ、最上のはへええ加減なんです。いかにも、は安っぽい。普通に凄いことが最高にいいんです。そして、実は静岡はそこに手をかける土壌にあるんだよね。」

天領ゆえの奥ゆかしさ。

まだ開館前のグランシップ。大ホール・海に立った氏は「どえらいものができた」とつぶやいた。あれから十年。エッセイ『しずおか文化漫遊』はすっかり本誌の顔となり、毎号楽しみにされている読者も多いことと思う。地元静岡の話題に思わず「ある、ある」と頷いたり、「それ、知らなかった」と新鮮な驚きを感じたり。しかし、残念ながら、今号はお休み。そのかわり十周年記念の番外編として、氏にたっぷり語っていただいた。

— G. 28号・29号での直木三十五のお話では、この静岡に大人の文化薫る時代があったことがとても意外でしたし、嬉しくもあ

りました。

「静岡といえば、江戸時代は天領みたいなものでしょう。東海道は日本のメインストリートで、その中でも富士山が見えて、駿河湾があつて、三保の松原がある。いってみれば目抜き通りですよ。その真ん中に駿府の城下があつたわけです。これはもう、大都会ですよ。その都会的な洒落た感じ、江戸文化の薫りは、僕らの親父の世代、呉服町や両替町の旦那衆の時代までは続いていたんです。歌舞伎役者が興津の水口屋などに来ていて、それも大歌舞伎のどびきりが来ていた。だから、その世代が観たというのは、六代目(菊五郎)や十五世(羽左衛門)なわけ。驚くでしょう。それが新幹線と高速道路と飛行機の進歩によってここは通過点になって、東海道が東海道たる感じではなくちやちやした。それで静岡は静かに明るくローカル化していったと…。(笑)」

「グラランシップが開館してちょうど十年ですが、この十年で日本の文化は成熟したと思われませんか。」

「成熟したところもあると思いますよ。パブルがはじめてしまうと、なんとかしなきやと考えますよね。金沢では旧町名の復活が行われていて、今の名前を古く戻すというだけでイベントになっている。しかもそれがあの街に似合う。器から芸能、文学にいたるまで、かつての加賀百万石の文化を軸にうねりが生まれていて、それはパブルがはじけたことを弾みにしているともいえませんね。そもそもパブルの頃が幸せだったかという、それは違うんじゃないかと思う

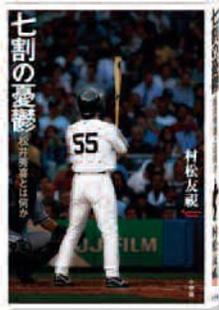
んですよ。例えば一九二九年といえは世界的大不況の年なのに、パブル時代はワインの最高の年として覚えられているなんて、そんなの不気味でしょう。(笑)そう思っているところはちゃんと地ならしができているんだな。」

「では、最近の静岡についてはどのようにご覧になっていますか。」

「何かに着目して立ち上がらなくても、燦々たる太陽と魚とお茶とみかんや富士山がある。精神的なバックに家康みたいな人もいると。だから、微動だにしない。ローカルなハングリーとは違う、都会的な悠々たるところが残っているんですね。ところが最近、僕としてはちよつと不思議に思っていることがあつてね。それが富士宮の焼きそばですよ。静岡県は今やB級グルメのメッカとかいわれている。これはもともとの駿府の気位からいうとふざけるな!なんですよ。けれど、それが一切通じなくなっているという前提に立つでしょう。すると家康や富士山じゃなくても、横丁のお稲荷さんを覗いて見れば何かあると。富士宮の焼きそばも唐突に出てきたわけじゃなく、神社の参道にある茶店のおばさんにそういう焼きそばを食わせてもらったということが、JCの発案者に刺激を与えたんですよ。普通は取るに足らないと思われがちな茶店のおばさんとのアイデンティティでああいうものが生まれたわけですよ。」

「新しい文化の気運としては、審査員を務めてらっしゃる島田市の『愛するあなたへの悪口コンテスト』もそうですね。」

「あれも島田の御陣屋稲荷というところがあつて、目安箱に悪口めいたことを投書するんで悪口稲荷といわれていた。それに着目した島田の市民団体が立ち上げたわけですよ。昔なら悪口なんてとんでもない!というところをやってみたら、去年応募が二千を超えてびっくり。それが今年は四千に達したというんですから。ただ、当然の結果ながら静岡からの応募はそんなに多くはないんだけどね。(笑)」



氏の新刊『七割の憂鬱～松井秀喜とは何か』(小学館) 打者は打って三割、残りの七割は思い出したくないもの。ところが、松井はその七割に滋味があり奥行きがあるという。これは〈比類なき「和」の風格を炙り出すゴジラの解体新書〉だ。

思っていたけど、その考え方を変えなきゃいけないというムーブメントが、いろいろ輩出してきたんじゃないかな。この頃のそうしたざわめきで、そんなことを感じますね。」

「まったく新しいものを奇抜に立ち上げるのではなくて、歴史の中に隠し持っているものを掘り出してきたところがポイントですね。」

「そうなんです。その歴史も大げさなものじゃなくていいわけです。家康じゃなくても、富士宮の神社の参道の茶店の味がいいんです。しかも茶店のおばさんの味が懐かしくてね、なんて美談めいたところから入ったんじゃ、全然インパクトを持たない。『なんで焼きそば?』だって焼きそばは富士宮に決まってるじゃん」という一見ゴリ押しのようなパワーが必要なんです。今、いろんなところで起こっているB級グルメも、たぶん本来の東海道の槍舞台じゃないところから出てるんだと思うんですよ。それがね、静岡県の話題として、ちよつと救いかな。」

悪口や悪態というのは実は心を浄化するんですよ。無視するのが一番冷たい対峙方法で健康に悪い。吐き出して気持ち浄化するということがお稲荷さんと関わっているところがいんだね。大きな神社ではそういうことに関わってくれないけど、お稲荷さんなら小さい悩みを聞いてくれるような関係、感覚があるでしょう。僕は、静岡というところは駿河の国の昔のグレードをずっと忘れないでいるうちに沈んでいったと

「違うね。これ(G.)にも書いたけど、静岡では黒いのがハンペンだと思ってるなら、白いほうを白ハンペンといえはいいのに、全国ではハンペンといったら白だろうから黒ハンペンと呼ぶ。その謙虚さというかね。ほかの県にはないですよ。これは講演会やイベントのときに前の席が空いているというところからも見える奥ゆかしさね。(笑)博多や札幌などは異物に対する好奇心があるけど、それが静岡は薄い。食いつきの悪さ、

昨夏の甲子園では、常葉菊川の野球に快哉を叫んだという氏。「大ざっぱで子どもっぽいいえるけど、まず自分たちが楽しもうという野球はいいね。徐々に静岡らしい気分を甦らせてくれたなと思いますよ。」



【むらまつともみ】

作家。小学校～高校時代を清水(現静岡市)で過ごす。慶應義塾大学を卒業後、中央公論社に入社、「小説公論」「婦人公論」の編集部を経て、文芸誌『海』編集部配属される。編集者として伊丹十三、武田泰淳、吉行淳之介、幸田文、野坂昭如などを担当。在社中、少年時代から好きだったプロレスに材を取ったエッセイ集『私、プロレスの味方です』がベストセラーとなる。その後、退社し、小説家として独立。『時代屋の女房』で直木賞受賞。1997年『鎌倉のおばさん』で泉鏡花文学賞受賞。静岡ゆかりの作品『熱血しみずみなど』『巴川』『だけん、人はいいだよ。スルガビーブル物語』をはじめ、主な著書に『アブサン物語』『黄昏のダンディズム』など多数。テレビ出演の機会も多く、ウイスキーのCMでの台詞『ワンフィンガー、ツーフィンガー』は話題となり、1987年新語・流行語大賞を受賞している。祖父は作家の村松梢風。1940年東京生まれ。

好奇心のなさともいえるけど、半分は天領ゆえの奥ゆかしさですよ。」

風穴としてのB級グルメ。

——好きな静岡弁というのはおありですか。

「好きなのは、(へええ加減)かな。その意味を奥深く考えていくと、いろいろ出てくる。いい加減だし、よい加減だし。そこに極端な刺激はなくて、例えば能にしる、狂言にしる、最上のはええ加減なんです。いかにも、というのは安っぽい。普通に凄いと、最高にいいと思うんです。静岡って、実はそういうところに手をかける土壌にあると思うんだけどね。」

——前号のこのページで狂言師の野村萬斎さんが、やや俯瞰したところから眺めるのが狂言の目線であるとおっしゃっていて、そういう目線は静岡の人にも当てはまるのではないかと思っただけですが。

「確かに達観するところはありませんね。そういう意味では、狂言をつくる人の視座を大昔に与えられている。だから、ええ加減にできる。ただ、色めき立たない気風というのは、慎みでもあり、恐縮の仕方に見られる距離感などは決して嫌いではないんだけど、奥ゆかしさと謙虚だけじゃ、食っていないからね。」

——そうした気風の静岡でグランシップはどういう存在であってほしいと思われませんか。

「僕としてはここを城とする城下町みたいな賑わいができてほしいわけです。それは

お上からやつちやつたらダメなんだな。グランシップの文化から発信しなければね。そして、自然に人が寄ってくるような魅力的な存在になってほしいと思いますね。歌舞伎でも店でも客から減んでいきますからね。客がいい味を求めなくなると、地図を見て来る客ばかりになったら店は減びるでしょう。歌舞伎もそうです。山台に義太夫がいようが、テープだろうが、どっちでもいい客がいれば当然、テープでやるようになるわけですから。」

——では、今後、文化が成熟していくためには何が必要だと思われませんか。

「富士宮焼きそばのように一回視点をローカルアングルにしてみるってことじゃないですかね。新幹線と高速道路と飛行機で陥った状態を直視してみる。だって富士山と東海道のスケールで起死回生の復活劇を考えても、それはちょっと難しいでしょう。また、古いものを掘り起こしてそこに重みを持たせて成熟させるというのも、今から考えても遅いよね。徐々に目減りしていったものはなかなか一度には復活できないでしょう。だから、もつとチマチマしたことをテーマにしてエネルギーを出す訓練をしたほうがいいね。そういう意味でB級グルメはどでかい突破口ではないけれども、障子にプツ、プツと風穴をつくって、やがて大きい風を入れる役割は果たしているんじゃないかなと思いますね。」



PLAY BACK 10 YEARS

抄録 十年史。

端から端までおよそ11秒間に走り抜けていく新幹線に対し、流線型で呼応する建物。全長約200メートル、地上12階、地下2階。グランシップが開館したのは、1999年の春のことだった。当初はその外観と得体の知れなさから、“要塞”と称されることもあった。が、次第に輪郭が明らかとなり、活動の様子が広く知られるようになるといつしかその呼び名も聞かれなくなった。十年一日なのか、十年一昔なのか。変わらないものと、様変わりしたものが入り交じるこの10年。その間、グランシップを訪れた人、約800万人。そこには数々の出会い、ふれあいがあった。10年というささやかな歴史のどこかで出会っていたかもしれないあなたとPLAY BACK 10 YEARS!感謝とこれからの抱負を胸にグランシップの足跡を少しだけ、足早に振り返ってみたい。

1999-2009

古典芸能

◀99年、00年、02年～



グランシップ静岡能
初年の「翁」を皮切りに、3年目からは新年を言祝ぐがごとの能楽のひとつ。もはやお正月の吉例となっている。

◀00年、02年～



グランシップ静岡能より派生した、能を多角的に楽しむためのレクチャー・体験型公演。一般参加者対象のお稽古と発表も人気で、年々参加者が増加中。

東京や京阪に比べて、地方都市では古典芸能にふれる機会が格段に少ない。だからこそ、グランシップでは、定期的、継続的にそうした場を提供しようとする。そこから興味が芽生えた、自分もやってみたくなたーそんな声が聞けたらうれしい。

グランシップ静岡能
能楽鑑賞教室
(08年より能楽入門公演)

◀04年



新作能「利休」
天下第一の茶匠の(朝顔の茶会)を題材にした新作能。シテ役に観世宗家(P21参照)、利休役には野村四郎。詞章は深瀬サキ。

◀07年～



グランシップ名人会
第1回の立川談志に始まり、柳家小三治、宝井馬琴、春風亭小朝と、まさに名人揃い。即日発売必至の名人会に今後も注目を。



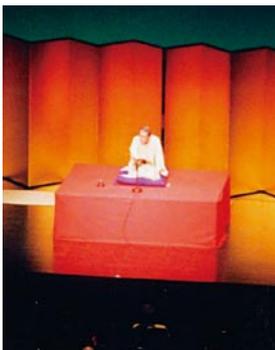
◀04年～



静岡県(旧清水市興津)出身の宝井馬琴が発声法や張り扇の叩き方をはじめ、講談の楽しみ方を伝授。名人による迫力の講談も。08年からはグランシップを飛び出して、県内各地で開催。

宝井馬琴の
家族で楽しむ講談教室

◀01～06年



グランシップ正月寄席
笑う門には何とやら。新春の福笑いをおとどけする寄席に欠かさず訪れてきたというファンも多い。07年秋より「名人会」として再スタート。

◀05年～



人形浄瑠璃「文楽」
05年より開催の世界の無形遺産、文楽。語りと三味線、人形の三位一体の舞台には日本ならではの精緻な芸が息づいている。

◀06年



歌舞伎市川亀治郎 静岡初お目見え「亀治郎の会inしずおか鷺娘」
開館8年目にして行われた初の歌舞伎公演。美しい舞とエンディングに降る雪(紙吹雪)に「涙が出るほど感動した」という声も。

観世流二十六世宗家

観世 清和

kanze kiyokazu

能楽堂のない場所での公演は大変なこと。
常に前向きに創造していくことが大事なんです。

開館の年、肅々たる空気の中、能舞台のこけら落とし公演が行われた。観世流宗家による『翁』。出帆にふさわしい晴れがましき、清々しさが中ホール・大地を静かに包んだ。

あれから10年。ありがたいことにグランシップで観世流の名を見ない年はないほどだ。

「これはスタッフのご努力がなければできないことです。能楽に限らず、集客が難しい時代ですからね。でも、その一方でテレビではお能を見るけれど、チケットをどこで買ったらいいかわからないという方もいらっしやる。やはりグランシップのように一過性ではない普及はとても重要なのです」

小学生や学生を対象にしたワークショップつきの公演では、観世流能楽師の協力により、能のイロハから能装束の実演、仕舞の稽古、最後には能の鑑賞まで、贅沢すぎるひとときに毎回興奮の声が寄せられている。

また、開館5周年の際、グランシップ・オリジナルの一曲『利休』では、シテとして朝顔の精を勤めた。「あれは『世界お茶まつり』に因んでの新作能でした。詞章が七五調ではないこともあり、大変苦労したことを覚えています。(笑) 上演後の評価はいろいろあると思いますが、常に前向きに創造していくことが大事なんです。古典曲には古典曲の良さがありますが、新作に身を置くことにより、冷静な目で古典曲を見ることもできる。そういう楽しみもありました。」

さらにこの春、野村萬斎親子とともに親子でグランシップに登場したことも記憶に新しい。

「お能は人間を舞うものなのです。だからといって、子どもや弟子にこういう役だからこう演りなさいとは一切いわない。師伝を仰ぐ世界では、教える側も魂を削って教え、教わる側はそれを身体ごと受けとめる。だからこそお客さまの五感に訴えることができるのだと思っています。」

経済が衰退している今、本物だけが生き残り、と宗家。

「その、本物“を感じていただける場の一つとして、グランシップの今後にますます注目してまいりますね。」

音楽

本格的なオーケストラ音楽から、気軽に楽しむクラシックやジャズ、ダンスミュージックまで。音楽家や時代にスポットを当てたり、趣向を変えたり。ヤングオーケストラ塾やジャズクリニックのほか、アウトリーチなど、多面的な活動を展開中。

グランシップ&静響 クラシックコンサートシリーズ

協奏曲シリーズ、ウィーンシリーズなど、年間テーマを設定。静岡交響楽団と共にクラシック音楽を低料金で提供。地元企業協賛による公演も。

▼02年～

◀99年～



クラシック・サロン
主に週末の午後に開かれてきたサロンコンサート。福田進二によるギタークリニックなど、アウトリーチ活動も展開。

◀99年、00年、02年～



**グランシップ
ジャズライブ**
日野皓正、渡辺香津美、山下洋輔ら、巨星が続々来館。近年はビッグバンドによるスイングジャズクラブが人気を博した。

◀07年～



**グランシップ
スイングジャズクラブ**
前日クリニック受講・当日ステージでプロとの共演が参加者に好評。スイングジャズならグランシップでというファン層が増加中。

◀08年▶



©Ronald Knap

**ロイヤル・コンセルト
ヘボウ管弦楽団
ブラス・クインテット**
本公演以外に特別支援学校でアウトリーチ公演を実施。「二生に一度のコンサート。聴けてよかったです。」ある女の子がくれた感想はグランシップにととの宝物。

◀08年



©Nicolas Ruel

**ケント・ナガノ指揮
モントリオール交響楽団**
10年目の春に、話題の指揮者率いる世界的オケが登場。「ボレロ」の響きが、中ホールを埋めた観客を静かに熱く包み込んだ。

◀08年～



グランシップ音楽の広場
静岡ゆかりの3000人の演奏家、約3000人の聴衆を集めた大音楽祭。オーケストラの中に客席を配置するなど、コンサート史に残る試みも。



◀02・05年



**県民オペラ
「蝶々夫人」**
国際オペラコンクールのプレイベントとして開催。開館3周年の年、プロアマが集結して初の県民オペラを立ち上げた。

◀02年▶



**バレエ
「マラーホフの贈り物」**
ため息がもれた「レシルフィード」での流麗なパフォーマンス。優美なバレエ貴公子が中ホール・大地に舞った。

舞台芸術

◀08年▶



**ミュージカル
「Freddie」**
原作で登場する葉っぱを人間に置き換えていのちの営みを見つめた作品。島田歌穂の漂とした力ある歌声が観衆を魅了した。

◀08年



ダンスオペラ「神曲」
大島早紀子が構成・演出・振付。H・アーナル・カオスが作曲。ダンスと音楽と美術の融合「ダンスオペラ」が初登場。神話的な時間を体感したひととき。

自主制作モノや伝統芸能以外にも、ストリートプレイやミュージカル、オペラ、オペレッタ、バレエなど、多彩な舞台芸術をおとどけてきたグランシップ。観る楽しみとともに、ときには創造する楽しみ、参加する楽しみも提供してきた。

文学

グランシップ10年間における文学の2軸といえば、「連詩」と「源氏物語」。前者はあまり知られていなかった世界の楽しみを、後者は一つの作品を別角度から、または複合的イヘントとして提示。言葉の世界は深く、そして、常に新鮮だ。



99年～

しずおか連詩の会
大岡信を中心に毎年5人の詩人が参加し、毎年秋に開催。04年には過去5回の集大成として『闇にひそむ光』を記念出版。



04年～

夢の浮橋 人形たちとの「源氏物語」
佐藤信演出。出演は穂谷友子と江戸糸あつり人形芝居の結城座。竹本素京の義太夫、山口小夜子デザインの人形も話題に。

05～06年、08年



白石加代子 「源氏物語」
世界最古の小説の読み手は多けれど、なかでもファンが多い「白石源氏」。瀬戸内寂聴の現代語訳を元に新たな源氏世界へと誘う。



01年～

静岡の魅力 フォトコンテスト
2年に一度開かれ、今年5回目を迎えるフォトコン。審査員には日本を代表する写真家が名を連ねる。*関連記事P.12。



02年～

世界ハート展 NHKハート展
障害のある人が綴った二編の詩に著名人やアーティストがハートをモチーフとしたアートを添える、恒例の展覧会。「自由芸術祭」も同時開催。



写真・アート

07年～

グランシップ 自由芸術祭
県内の特別支援学校の生徒たちによる作品展のほか、ワークショップも。障害者と健常者の協働の場には、常に様々な芸術表現の魅力にあふれている。



04年～08年

何必館・京都現代美術館所蔵 世界写真家シリーズ
プレッソン、ドアン、ロニス、木村伊兵衛、アウウィットと続いたシリーズには、若い世代からの支持も高い。



08年

「熊坂出」を眺める
珈琲とミルク、ベルリンへの流れ、そして「105人展」へ



相田みつを、辻村寿三郎のほか、ゴジラ展、クレイ・アニメなど、多様なアート展、世界を紹介。写真展の開催も数多く、マグナム社協力のもと、報道写真も多く手がけてきた。若手クリエイターやアマチュアを対象としたコンテストなども開催。

99年～04年

SING
日比野克彦が中心となり、若きクリエイターのためのコンペティションを展開。04年には新進クリエイターらによる特別企画展も行われ熊坂出(P.11)も参加。



こども

子どもを対象としたコンサートや演劇、ミュージカルはもちろん、体験型のプログラムが多いことも特徴の一つ。未来を担うこどもたちの五感を刺激しつつ、グランシップもまた、子どもたちから元気をもらっているのだ。



◀06年～

「えほん」「おと」「かみ」「らくがき」と、毎年テーマを変えて、こどもたちの創造性を刺激。ゴールデンウィークの恒例催事。

◀06年～



子どもたちが伝える昔ばなし
県内各地に残る民話や昔ばなしを小学生による絵画、音響効果、解説を交えたDVDとして保存しようというプロジェクト。

◀07年～



音楽家とこどもたちのための音楽体験プログラム
英国からマイク・スペンサーを招いての体験型プログラム。音楽によるコミュニケーション・トレーニングやワークショップを展開。

1999-2009

◀00年～



高松宮妃のおひなさま展
故高松宮妃喜久子さまがご成婚のお支度としてお持ちになられた京雛を桃の節句に合わせて毎年開催。毎年のスポット展示、ギャラリートーク、香道時絵、貝遊びなど多彩なイベントを開催。今年2月には、雅楽と能楽のコラボ、実際の五人囃子による『雛の宴』五人囃子のひなまつり』を開催。

01年・04年・07年▶

世界お茶まつり
グランシップとツインメッセを主会場に3年に一度開催。毎回多数の来場者をむかえる大イベント。



この10年の間に式典や学会に参加するためにグランシップを訪れた、という人も多いと思う。市・県レベルのイベントはもちろん、全国・国際レベルの大会も多数開催。さまざまな企業・団体・学校などに利用されており、その稼働率はかなり高い。

コンベンション

ねりんピック静岡2006閉会式
高齢者を対象としたスポーツ・文化・福祉の祭典。テーマは「奏でよう ふじのくにから健康賛歌」

▼06年



◀04年～



全日本10ダンス選手権大会
大ホール・海の大空間を活かしたダンスイベントは、グランシップでよく開催される催し物の一つ。

◀07年



2007年ユニバーサル技能五輪国際大会
開会式には皇太子殿下がご臨席。アピリンピックの閉会式もグランシップで行われた。

1999-2009

その他

グランシップがおとどけする企画には、カテゴライズするのが難しいものも多い。趣味の世界とアートが融合したり、音楽とマ스ゲームが合体したり…。全館をフルに使った一大フェスティバルもグランシップならではの。

トレインフェスタ

子どもも大人も、マニアもそうでなくとも楽しめる、全国屈指の鉄道イベント。07年よりシテイプロモーション静岡ホビーウィークと連動。さらに多くの来場が見込まれる。



◀99年～

04年～▶

おとみち

毎夏、会場を熱気で包む静岡最強のダンスイベント。参加者、来場者が年々増加。初心者向けのプログラムも。グランシップを飛び出しているPRキヤラバン、企業・アーティストとのコラボ、ダウン症児のダンスステージ、オリジナルソング&ダンス「Dance It UP! Shizuoka」の作成など、一つのムーヴメントとなる。



◀06年

2006年度 魚類学会年会

天皇陛下がご臨席。展示品や研究発表会などをご見学された。



08年▶

第13回 日本緩和医療学会学術大会

緩和医療に携わる医師と看護師約5,000人が参加。学術的研究発表、講演会が館内各所で行われた。



▼07年～



収穫祭



青い鳥

GRANSHIP SHOW-WINDOW ALBUM

大ホール・海の南側にあたるショーウィンドウを飾ってきた作品たち。県内の学生やクリエイターらの協力のもと、季節や催事に合わせて、数々のメッセージが発信されてきた。



グランシップの船長さん



木漏れ日



6歳・あの頃・僕の秘密基地



ゴッポの部屋



ハッピーフラッグ



かざぐるま / PUZZLE IN SUMMER



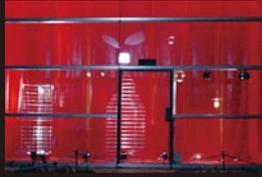
風のうた



万華鏡



face to face



アクリル建築



REPAIR THE EARTH



絵本の世界



草木のいのち「五月の季節」



人魚姫の庭



R-Nouveau:21#1



雪の女王

原信夫とシャープス&フラッツ ファイナルコンサート

NOBUO HARA and His Sharps & Flats FINAL CONCERT

6/14 Sun

チケット
好評発売中!

15:00開演(14:30開場) グランシップ 中ホール・大地

全席指定 一般 5,000円 学生 2,000円

ひとつの音楽史のゴールへ
#&b、ラストラン。

譜面台に記された「#」と「b」を見れば、それとわかる。ご存知、ジャズ・ビッグ・バンド「原信夫とシャープス&フラッツ」だ。

1959年、10人編成でスタートした彼らの歴史は、そのまま戦後ニッポンのポピュラー音楽史といっても過言ではない。今でこそ2つの音楽記号で知られるが、実は前身のバンドでリーダーを務めていた原信夫が進駐軍クラブで演奏中、黒人兵から「ヘイ、シャープ!」(キレよく!)、「ヘイ、シャープメン(イカす奴!)」と声がかかったのがそもその由来らしい。

創設以来、N響や日本フィルなどと共演の一方、美空ひばりや江利チエミといった国民的スターとのタッグで日本を沸かせ(名曲「真つ赤な太陽」は原信夫の作曲!)、紅白にも度々出演。また、海外では日本人バンドとして初めてニューポート・ジャズ・フェスティバルに出演のほか、クインシー・ジョーンズやダイアナ・ロスら巨星と共演も数知れず。まさに世界の重鎮たるバンドだ。

が、しかしファンとしては誠に残念なことながら、彼らの音楽が生で聴けるのは今年限り。原いわく「生涯をかけてきたジャズという音楽を新たな世代に託そう」という思いからの幕引きらしい。それは創設時のバンドリーダーがそのまま最後まで務めあげる、ある意味希有なバンドらしい閉じ方でもある。

原はこうも記している。「結成以来、ちばん良い音をしている『今』このときに、このビッグバンドという形式から離れようと思う」と。ならば、せひともその音を聴きに行かなければ。惜しい気持ち、期待に高まる気持ちの両方でせひ、6月のグランシップへ!

グランシップ

らくがき

～楽(らく)がき DE アート～

入場
無料

5/3(日)～6(水・休) 10:00～16:00

グランシップ広場

芝生広場に出現の壁!
太陽の下でらくがきしちゃおう!

6階展示ギャラリー

ギャラリー1 「らくがき」めいろ
あっちでらくがき、こっちでらくがき。
迷路のようにつづく壁のその先は?

6階展示ギャラリー

ギャラリー3 「もりをつくろう」
好きな木のモチーフを探してらくがき。
完成したら展示してお披露目!

3階ロビー

遊んだり、ひと息入れたり。
大人気の「夢のおきがえコーナー」
が今年も登場するよ。

6階展示ギャラリー

ギャラリー2 きっかけ「らくがき」
あらかじめ描かれた直線や波線を
きっかけに、らくがきをはじめよう!

くるまに「らくがき」
パーツにらくがき。夢のくるまができ
あがり!

今年のテーマは「らくがき」。
いたずらゴコロをポケットにしよばせて、
GWのグランシップに集合だ!

へのへのもへじ。これは日本の伝統的らくがき。そして、幼い雪舟が涙で床に描いたねずみ。こちらは芸術的らくがきといったところか。とはいえ、らくがきとは「書くべきでないところに文字や絵などをいたずら書きすること、また、その書いたもの」のこと。多くは社会的にも問題視され、シンガポールなら重罪にあたる行為だ。

他人のもの、公共の場所へのらくがきは、当然ケンカラン以外の何モノでもない。が、そうでなければ、らくがきは正直楽しい。その証拠に古くから「楽書き」とも記されているのではないか。子どもならなおさらだ。

自発性が芽生えはじめた子どもは、紙と筆記用具さえあれば、いたずらがきに時間を忘れる。腕を左右に往復させて描くだけの線から、円になり、顔や図形になっていく。そこには成長の過程が投影されている。

さて、今年、グランシップがおくるのは、そんな「らくがき」の世界。迷路の中を描き連ねたり、クルマにらくがきしたり。青空の下でのびのび描くそれなんだから楽しそう。しかも誰にも怒られないらくがきなんて! 来たるゴールデンウィーク、アート心がむくむく沸き立つグランシップに家族でぜひ。

Shizuoka 春の芸術祭2009

Spring Arts Festival Shizuoka 6/13sat ▶ 7/5sun

1

演劇・日本

ふたりの女 ～唐版・葵上～

能×アン格拉×宮城聡、
野外劇場で新たな伝説が立ち上がる！
演出：宮城聡
作：唐十郎
出演：SPAC
6月20日(土)、27日(土) 7月4日(土)
舞台芸術公園 野外劇場「有度」



©七戸優

6

演劇・オランダ

じゃじゃ馬ならし

いまヨーロッパを席卷する
じゃじゃ馬の群れ、上陸。
演出：イヴォ・ヴァン・ホーヴェ
作：シェイクスピア
出演：トネルブルー・アムステルダム
6月27日(土)、28日(日)
静岡芸術劇場



©Jan Versweyveld

2

ダンス・フランス

プ・レス

虚無はもういい、いまは
メッセージのあるダンスに還るときだ！
振付・出演：ピエール・リガル
(カンパニー・テルニエール・ミニユート)
6月13日(土)、14日(日)
静岡芸術劇場



©Frédéric Stoll

7

演劇・フランス

オリヴィエ・ピイの グリム童話

少女と悪魔と風車小屋 a
いのちの水 b
本物のフィアンセ c
オデオン座芸術総監督オリヴィエ・ピイの
最新作、早くも来日！
作・演出：オリヴィエ・ピイ
原作：グリム兄弟
出演：パリ・オデオン座
6月27日(土) a b
6月28日(日) c
舞台芸術公園



©Alain Fontenay

3

古典舞踊・インド

半人半獅子ヴィシュヌ神 シータ姫、大地に還る

演劇の始原＝インディアングルーブ最前線！
演出：ゴバル・ヴェヌ
出演：カピラ・ヴェヌ、ナタナカイラリ
a 6月13日(土)
b 6月14日(日)
舞台芸術公園 屋内ホール「楕円堂」



8

演劇・コロンビア/スイス

スカパンの 悪だくみ

極彩色のモリエールにはラテンの
ヒートがよく似合う。
演出：オマル・ポラス
作：モリエール
出演：テアトロ・マランドロ
7月4日(土)、5日(日)
静岡芸術劇場



©Marc Vanappelghem

4

演劇・フランス/日本

Sarah Kane's ブラステッド

傷つけあうことでしか愛しあえない、
現代のハムレットとオフィーリア！
演出：ダニエル・ジャンヌト
作：サラ・ケイン
制作：SPAC
出演：阿部一徳、大高浩一、布施安寿香
日時：6月13日(土)、14日(日)、
20日(土)、21日(日)
舞台芸術公園 稽古場棟「BOXシアター」



©Elisabeth Carecchio

9

映像インスタレーション・ドイツ

タイタス解剖 —ローマ帝国の落日

ミュラーが幻視した世界帝国の終焉、
ジャンヌ・モロー主演で映像化！
監督：ブリギッテ・マリア・マイアー＝ミュラー
原作：ハイナー・ミュラー
映像出演：ジャンヌ・モロー、アンナ・ミュラー、他
7月4日(土)、5日(日)
舞台芸術公園 稽古場棟「BOXシアター」



©Maria Mayer Müller

5

音楽人形劇・台湾

マルコ・ポーロ —東方見聞録のヒミツ

台湾古典人形劇の至宝、西洋と出会う！
作：ロビン・ラウセンダー
出演：台原偶戯団
6月20日(土)、21日(日)
静岡芸術劇場



帰りにんご古典、世界ままた荒れなんぞ

宮城 聡芸術総監督がセレクトする
現代を生き抜くための9つの作品

SPAC 社会講座 2009 教育は劇場にあり!
●静岡芸術劇場

会場：静岡芸術劇場／舞台芸術公園 ◎お問い合わせ—財団法人静岡県舞台芸術センター
〒422-8005 静岡市駿河区池田79-4 Tel.054-203-5730

チケット前売り開始5月上旬

電話予約 SPAC チケットセンター Tel.054-202-3399
窓口販売 静岡芸術劇場チケットカウンター | 受付時間 10:00~18:00(平日)
10:00~14:00(土・日・祝日)
ウェブ予約 <http://www.spac.or.jp>

SPAC
SHIZUOKA PERFORMING ARTS CENTER

芸術総監督 宮城聡



公演情報

2009/3-2009/6

※2月現在の情報です。出演者、天候等の都合により、公演の内容が変更されることがあります。

入場無料 5/16^土・17^日

グランシップ トレインフェスタ2009



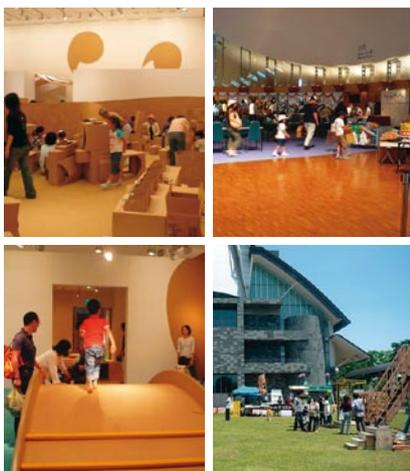
恒例、日本最大級の鉄道イベントが今年もグランシップにやってくる! 多彩な鉄道模型を中心に、Nゲージ体験やミニ列車乗車会、駅弁コーナー、クイズ大会など、鉄道ファンはもちろん、家族でたっぷり楽しめる2日間。電車に乗ってグランシップへGO!

- 5/16 10:00~17:00 (入場~16:30まで)
- 5/17 10:00~15:30 (入場~15:00まで)
- 大ホール・海、中ホール・大地、展示ギャラリー、交流ホール、会議ホール、グランシップ広場ほか
- 入場無料

入場無料 5/3^日・6^木

グランシップ こどものくに~楽がきDEアート~

■10:00~16:00 →P26参照
 ■展示ギャラリー、3階ロビー、グランシップ広場ほか



昨年の様子

チケット発売中 3/28^土

GLコード40001 KY 炎神戦隊ゴーオンジャー ファイナルライブツアー2009



テレビ朝日系列で放送中「炎神戦隊ゴーオンジャー」より7人の主役俳優がグランシップに! ゴーオンジャーと新スーパー戦隊ヒーローによる夢のジョイントショー。

- ①10:00開演 (9:15開場) ②13:00開演 (12:15開場)
- ③16:00開演 (15:15開場)
- 大ホール・海
- 全席指定 S席 3,500円 A席 2,500円
- *3歳以上有料、2歳以下膝上鑑賞無料

チケット発売中 5/24^土

G CN Lコード43459 Pコード393-034 S

静岡ちゃつきり寄席

静岡県にゆかり深い“口”達者が勢揃い。幅広い世代の話を楽しく。

【出演】宝井馬琴・瀧川鯉昇・柳亭楽輔・平野啓子
 古今亭志ん公・柳家花いち

- 14:00開演 (13:30開場)
- 中ホール・大地
- 全席指定 一般S席 2,500円 一般A席 1,500円
 学生S席 1,500円 学生A席 800円
 (未就学児入場不可)



宝井馬琴



瀧川鯉昇



柳亭楽輔



平野啓子



古今亭志ん公

チケット発売中 5/5^火

G CN Lコード43848 S

静岡銀行Presents グランシップ こどもたちへのおくりもの ~小・中学生のための こどもの日コンサート~



野平一郎



静岡交響楽団

日本を代表するピアニスト、静岡が誇る合唱団とオーケストラが、こどもたちに“本物”の感動を贈ります。

【出演】指揮・ピアノ:野平一郎、合唱:静岡児童合唱団&青葉会スベリオル、管弦楽:静岡交響楽団

【曲目】(予定) モーツァルト「フィガロの結婚」序曲、ピアノ協奏曲第21番ハ長調 K.467ほか

- 14:00開演 (13:30開場)
- 中ホール・大地
- 全席指定 大人 1,500円
 小・中学生 500円 (未就学児入場不可)

チケット発売中 4/11^土

G CN Lコード43465 Pコード316-318 S

グランシップジャズライブ Premium ベニー・グッドマン生誕100年 北村英治カルテットfeaturing スコット・ハミルトン



スコット・ハミルトン



北村英治

今年、傘寿を迎えるとは思えない艶やかな音色を奏でる国際的クラリネット奏者、北村英治が、30年来の友人であり、歌心あふれるプレイで聴かせるテナー・サクソの名手スコット・ハミルトンを迎えておくる、まさにプレミアムなひととき。

- 【曲目】
- 16:00開演 (15:00開場)
- 交流ホール
- 全席指定 一般 5,500円 学生 2,000円



託児をご希望の方は、公演1週間前までに(財)静岡県文化財団企画制作課までご連絡ください。 ☎054-203-5714

※お預かりできるのは、2歳以上の未就学のお子様に限ります。

真夏の音楽祭

「グランシップ音楽の広場」出演者募集!



静岡県ゆかりの300人でつくる
大オーケストラの祭典「グランシップ音楽の広場」を今夏も開催。
一流の指揮者のもと、演奏者としてぜひご参加を。

- 対象/静岡県ゆかりの方で、アンサンブルの演奏経験のある高校生以上の方(プロ・アマ不問)
- 募集締切/4/20(月)
- 日程/本番 8/2(日) 大ホール・海
開演15:00 終演17:30 予定
- 間合わせ/(財)静岡県文化財団 企画制作課
TEL:054-203-5714
詳しくはグランシップホームページ
www.granship.or.jpにて
- 合同練習 7/5(日)・7/20(月・祝)
- リハーサル 7/31(金)・8/1(土)
- ゲネプロ 8/2(日)
- 指揮/広上淳一(京都市交響楽団常任指揮者)



<http://www.granship.or.jp>



3/15(日)チケット発売

¥14^⑤

G CN L Lコード43466 P Pコード316-319 S

グランシップジャズライブ Vol.1 原信夫とシャープス&フラッツ ファイナルコンサート2008-09



シャープス&フラッツ

- 16:00開演
(15:00開場)
- 中ホール・大地
- 全席指定
一般 5,000円
学生 2,000円



原 信夫

→P27参照



3/29(日)チケット発売

¥26^⑤

G CN L Lコード43458 P Pコード315-789 S

大植英次指揮 ハノーファー北ドイツ放送 フィルハーモニー



大植英次

©Klaus westermann

今、世界が熱い視線を寄せる大植英次がグランシップに初登場! 首席指揮者として厚い信頼関係を築いてきたオーケストラを率いての「マラー-9番」。渾身のタクトに乞うご期待!

- 19:00開演 18:30開場
- 中ホール・大地
- 全席指定 S席 10,000円 A席 8,000円
B席 6,000円 学生 3,000円
(当日席指定) *未就学児入場不可

静岡の魅力

第5回

フォトコンテスト2009

募集部門

- ①「静岡の魅力」部門
(静岡から「静岡の魅力」を発信)
- ②「静岡と交流」部門
(県外から「静岡の魅力」を発見)

審査員

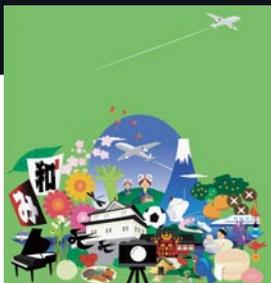
- 大竹省二(写真家) 藤井秀樹(写真家)
- 沼田早苗(写真家) 織作峰子(写真家)
- 山本晋也(映画監督) 徳川慶朝(写真家)
- 天野 一(静岡県文化芸術振興議員連盟会長)
- 田村孝子(静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ館長)

応募締切

2009年8月31日(月) ※当日消印有効

賞金 最優秀賞(静岡県知事賞) 50万円 1点 他多数

〒420-0852 静岡市葵区紺屋町15-4
静岡新聞SBS紺屋町別館
(株)SBSプロモーション内「フォトコンテスト事務局」
TEL.054-254-2056 FAX.054-252-5436
(受付時間:月~金9:30~17:30/土日祝除く)
E-mail: photo@sbs-promotion.co.jp



応募方法

上記フォトコンテスト事務局にお問い合わせの上、応募要項・応募票をお取り寄せてください。
応募方法は、応募要項またはグランシップホームページをご覧ください。

主催/財団法人 静岡県文化財団 企画制作課 TEL.054-203-5714 FAX.054-203-5716



<http://www.granship.or.jp>

JUST FINISHED!



ニューイヤーコンサート出演者 ほか 9. Jan. 2009

「静岡ガスPRESENTSグランシップニューイヤーコンサート」終演後、中ホール・大地のステージにて。静岡ガスの会長・社長と指揮の堤俊作氏、ゲストのボニージャックス、グランシップ館長。

読者 Presents

5組10名コンサートご招待。



6/14開催の「原信夫とシャープス&フラッツ ファイナルコンサート」に5組10名をご招待。ハガキに住所、氏名、電話およびプレゼント名を明記の上、下記あて郵送を。(平成21年5月20日消印有効)なお、当選者は商品の発送をもって発表にかえさせていただきます。

〒422-8005 静岡市駿河区池田79番地の4 グランシップG係 TEL054-203-5714

MEMBERS 「グランシップ友の会」会員募集

グランシップが開催する公演・イベントをよりおトクに楽しんでいただくためのメンバーズクラブ「グランシップ友の会」。ぜひ、あなたもご入会を。

■会員タイプ・年会費 (初年度年会費は入会月により異なります。)

- ◆レギュラー会員 年会費 2,000円
- ◆法人特別会員 年会費 200,000円
- ◆法人一般会員 年会費 100,000円

■特典

- ◆チケット割引10%割引
- ◆公演情報誌送付
- ◆法人会員特典 (情報誌上に社名掲載)
- ◆チケット先行予約
- ◆提携店割引

〈チケット代金のカード払いを希望の場合、NICOS・VISA・Master他提携カードの利用可〉

■お申し込み・お問い合わせ

グランシップ友の会事務局
〒422-8005 静岡市駿河区池田79番地の4 グランシップ3階
TEL.054 (203) 5714 FAX.054 (203) 5716

〈友の会法人会員〉

- 法人特別会員/静岡ガス(株)、鈴与(株)、(株)静岡新聞社、静岡放送(株)、(株)静岡第一テレビ
- 法人一般会員/株タミヤ、ココヨマーケティング(株)、(株)NTTドコモ東海、劇団ひまわり、(株)ステージ・ループ、第一建築サービス(株)、静岡県ビルメンテナンス協同組合、静岡信用金庫、中央静岡ヤクルト販売(株)、(株)ピーエーシー、(株)テレビ静岡、コカ・コーラ セントラル ジャパン(株)、(株)伊藤園、ダイドードリンコ(株)



m i c h i a k i
m o c h i z u k i

望月 通陽 (もちづき みちあき)

染色、陶芸、ガラス絵、紙版画、リトグラフ、木彫、ブロンズ、ガラス彫ほか、「宮本輝全集(全14巻)」など装幀も多く手がけ、'95年講談社出版文化賞ブックデザイン賞受賞。画文集「道に降りた散歩家」で'01年ポーロニア国際児童図書展賞次席受賞。作品集に「円周の羊」、「方舟に積ものは」などがある。1953年静岡市生まれ。

「G」の扉がリニューアル。

今号より本誌の扉を飾るのは、静岡市在住の作家、望月通陽氏のガラス作品。染色や版画、木彫、ブロンズ、陶芸など、多様な手法を用いて独自の作品世界を築くことで知られる氏が、「工芸ではなく、彫刻としてのガラスに向き合いたくて」と昨年より試みているもの。ガラスは制約が多く、壊れやすいことから、「まるで女性のように難しい」とチャタリングに語る氏。ぜひ、ご注目を。

表・紙のアーティスティック紹介

TOPIC-1

グランシップ10周年記念事業
いよいよスタート



3/13のグランシップ開館10周年記念日に先立ち、記念事業がスタート。毎年恒例の「高松宮妃のおひなさま展」がその第1弾。今年はさらに高松宮妃ご愛用のお着物や婚礼調度品を展示。貝合わせ・貝絵・香道体験には着物着用の参加者で賑わい、一層雅やかな雰囲気包まれた。2/28には「雛の宴〜五人囃子のひなまつり」も開催。雛飾りから飛び出したような雅楽と能楽の五人囃子の共演が春のグランシップを華やかに彩った。

TOPIC-2

ヴィジュアルで振り返る
グランシップ10周年の歩み



グランシップ開館10周年記念事業の一環として、これまでグランシップが主催した催事のポスター展を季節ごとに開催。春は「古典芸能に親しむ春」をテーマに、「高松宮おひなさま展」「静岡能」「グランシップ名人会」などのポスターを展示した。(春の展示は3月23日まで)

TOPIC-3

健診の未来像へ向かって
日本総合健診医学会開催



1/23・24、大ホール・海ほかにて日本総合健診医学会第37回大会を開催。テーマ「健診戦略2009～斬新な攻撃的予防～」のもと、これからの健診・新しい健診のスタイルに関する研究発表・講演会が行われ、国内外から約2,000名が参加。また、企業展示や「食と健康」についての市民講座も行われ、広く健診の未来像を問いかける大会となった。

TOPIC-4

地域を支える文化の力
第22回地域文化活動賞決定



劇団夢舞(ムーブ)'92

静岡県文化財団では、毎年、県内各地において優れた文化活動を行っている団体を表彰。今年度は27団体より受賞団体が決定。その表彰式および活動発表会が2/8、会議ホール・風にて開催された。受賞団体は以下の通り。

〈地域文化活動賞〉劇団夢舞(ムーブ)'92(焼津市)〈地域文化活動特別奨励賞〉静岡浅間木遣保存会(静岡市)〈地域文化活動奨励賞〉(順不同)見付宿を考える会(磐田市)／焼津市「光の中」混声合唱団(焼津市)／浜松マンドリンオーケストラ(浜松市)／清水日本語交流の会(静岡市)〈地域文化活動努力賞〉中川根町史研究会(川根本町)〈地域文化活動特別賞〉(順不同)遠州常民文化談話会(磐田市)／沼津美術協会(沼津市)

TOPIC-5

若い世代に、上質な音楽体験を。
「中学生のための音楽会」



本格的なホールで音楽を鑑賞することによって豊かな心を育み、同時に文化芸術の素晴らしさや鑑賞マナーを知ってもらおうと静岡県及び財団法人静岡県文化財団が県内中学生を対象に開催する「中学生のための音楽会」。本名徹指揮・神奈川フィルハーモニー交響楽団を迎え、1/27・28、中ホール・大地にて開催。今年は初めて、座席の一部を500円で一般開放。来場者には「安価で本格的な演奏が楽しめ、嬉しい」と喜ばれた。

TOPIC-6

核兵器のない世界を
2009年3・1ピキニデー



2/27・28、中ホール・大地ほかにて開かれた「3.1ピキニデー日本原水協全国集会」。国内外から約1,000人が参加し、「全国に世界に核兵器廃絶のうねりを〜ピキニデーから広島・長崎、ニューヨークへ」のテーマのもと、多様な取り組みを報告。2010年春の核不拡散条約(NPT)再検討会議を前に全国的行動の出発点となった。

TOPIC-7

華麗に、盛大に。シズデ卒業制作展
「デザイン・ラ・モード2009」



2/6〜8の3日間、中ホール・大地ほかにて静岡デザイン専門学校の卒業制作展「デザイン・ラ・モード2009」が開催された。ファッション&ヘアメイクショーや作品展など、魅力あふれる世界を展開。学生によるトヨタ『IQ』のオリジナルボディペイントの発表会、表彰式も行われ、会場を賑わせた。

TOPIC-8

グランシップレストラン
春の新メニュー



ポークヒレ肉の三方原男爵と玉葱のクリームソース焼き(ライス付)¥1,380
旬の三方原男爵と新玉葱で作ったクリーミーなソースをポークヒレ肉と共に焼きあげた一品。本誌・ホームページご覧の方のみの特別料理につき、前日までに要予約。グランシップレストランオアシスまで。TEL054-202-2980



GRANSHIP
SHOW-WINDOW ALBUM

テーマAでは10年間のできごとをさまざまな表情の布でコラージュ。また、テーマBでは静岡の自然や文化をダイナミックに表現した。



テーマA/「グランシップ10周年」
制作/静岡デザイン専門学校プロダクトデザイン科
1年Aクラス 16名



テーマB/「静岡国文祭」
制作/静岡デザイン専門学校プロダクトデザイン科
1年Bクラス 15名

でかけて楽しむ。使って楽しむ。

グランシップへいらっしやい!

【開館時間】 9:00~22:00

万が一にも! ①

AED(自動体外式除細動器)

電流を流して心臓の働きを取り戻す「AED」を1階エントランスと警備室、10階に設置。ちなみにグランシップのスタッフは全員操作方法等について研修済み。



万が一にも! ②

災害時無償提供型自動販売機

地震等の大規模な災害が発生した場合被災者に対して自動販売機内の飲料水を無償で提供する災害対応型の自動販売機を1階情報ラウンジに設置。時事通信社配信のニュースもリアルタイムで表示。



③ **会議ホール・風**

吹き抜けの最上階会議スペース! スライド式壁面を明ければ、窓越しに富士山も。

⑦ **会議室**

用途に合わせて使い分けられる大小19の会議室。10階フロアを貸し切りすれば、展望ロビーを我が家にも。

④ **交流ホール**

キモチもまるくなる青野アキスペースは、演奏や展示会、パーティーなどに活躍。

① **大ホール・海**

天井の高さは、なんと58メートル。自然光が降り注ぐ、約4,600人収容の大空間。

⑩ **グランシップ広場**

東静岡駅前広がるスペース。貸し出しもしています。

⑬ **県立図書館コーナー「えほんのひろば」**

● 9:30~18:00
カーペットに座って読める約4,000冊の絵本のほか、県立中央図書館の蔵書などの予約・受取・返却も。

⑭ **身障者用トイレ**

各フロアに1ヶ所ずつ、大ホール内に4ヶ所、中ホール内に2ヶ所あります。

⑥ **映像ホール**

高画質・高精細のビデオプロジェクターほか「見る」「聴く」機能も充実。至れり尽くせり。

⑱ **チケットセンター**

● 10:00~18:00
1階エントランスインフォメーションでは、グランシップ自主企画、専業チケットを販売中。

⑫ **託児室**

託児サービスのある催事では、保育資格を持つスタッフが、スタンバイ。
(イベント主催者が利用される場合は、主催者様で保育士の手配をお願いいたします。)

⑬ **小情報ラウンジ**

静岡県内の小情報を集約。静岡県内の小情報検索用パソコンのほか、ドリンクの自販機も。

⑨ **練習室**

楽器やダンスのレッスンも気兼ねなく。手頃な料金で利用できる大小4つの練習室。

⑧ **リハーサル室**

1階ロビーの中ホールのステージとほぼ同サイズ。本番さながらのリハーサルOK!!

② **中ホール・大地**

白い天然石のエントランスから一転、木目を配じた格調高い演出場空間。

⑪ **展望ロビー**

● 開放 9:00~22:00
天気の良い日は富士山を一望。散歩中の一息に立ち寄る人の姿も。(10階フロア貸し切りの際、ゴミ場出来ない場合があります。)

⑰ **静岡芸術劇場**

SPAC 静岡県舞台芸術センター(SPAC)による作品を上演。まさに理想を越えた、静岡県の舞台芸術の拠点。

⑭ **レストラン「オアシス」**

● 11:00~14:30、17:00~21:30
四季折々旬のおすすめ料理は、いかか? 公演の前後はもちろん、お食事スポットに。約90席。

⑮ **カフェ「燦(さん)」**

● 9:30~19:30
フオカッチャやベーグルサンドから、おしゃべりはずいぶんスイーツ、ドリンクまで。約80席。

【休館日】
施設の定期点検のため、下記の期間は全館休館。なお、休館中は施設使用に関わる予約・受付等の事務処理もお休み。なにとぞご理解、ご協力のほどを。

平成21年	4/13[月]~14[火]
	5/25[月]~27[水]
	6/22[月]~25[木]
	7/13[月]~16[木]
	8/17[月]~20[木]
	9/7[月]~8[火]

【ホール・会議室・練習室のご予約は】

会場予約はグランシップ利用サービス課で承っております。お気軽にお問い合わせください。

TEL.054(203)5713 [申し込み受付時間] 午前9時~午後8時(休館日を除く)

予約手続きの詳細や会場の空き状況は、グランシップホームページでもご確認いただけます。

<http://www.granship.or.jp/>

Ⓝ グランシップは館内全面禁煙となっております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

グランシップを利用する際は事前に利用対象となる会場をご覧いただけるほか、事前申込により不定期にガイド付きの見学ツアーを実施しているため、興味のある方はぜひご参加を。地下の練習室から最上階まで、舞台装置なども間近で紹介。団体でのお申し込みも受け付けている。

見学コース(一例) ⑥→③→⑤→④→①→②
見学申込 TEL.054(203)5710 総務課
 ※各施設のご利用状況によっては見学できない施設もございます。

グランシップ
まるわかり!

見学ガイドツアー
A guided tour

illustrated by
あかあ

グラランシップサポーター 10周年記念座談会

グラランシップの運営に県民の立場で参加する「グラランシップサポーター」たち。グラランシップの10年は、まさにサポーターと二人三脚で歩んできた10年だ。



——現在、グラランシップ・サポーターは170名を超え、年齢も幅広く、当然応募の動機もそれぞれだと思つていますが。

山田 私は退職後、何もしないでいるより何かを、それも若い人と交流する場ならいい刺激になるだろうと思つたんです。社会にお返しもしたかったし、ここがどんな施設になるのかということにも興味がありました。

佐藤 確かにこんなに大きな施設をどんなふう運営していくんだろうと思いましたが、思い



浦山 良乃 平常サポーター
「見学ガイドでは貸し館中のご案内できないホールも。それだけ稼働率が低いと感じていますね」



山田 守 イベントサポーター
「なぜ沼津からわざわざ？と言われるけど、自分にとってはそれだけの価値があることなんです」



安野 絵美 イベントサポーター
「今まではどちらかというとスポーツ派。芸術文化の世界の素晴らしさを知りはじめたところです」



を「初めて知った、という方もいたりして。行きたい公演があっても初めからあきらめていている親御さんも多いんじゃないかしら。
猪熊 そういうことも含めて僕らは宣伝マンであることも期待されていると思つています。

成瀬 サポーターをやっていると近隣ホールの催事も気になるね。
山田 ついついスタッフの応対ぶりもチェックしちゃう。

佐藤 私は別のホールでもボランティアをしています。この頃のほうがちょっと上かな。

山田 なにしる先生が厳しいから
安野 でも、研修は自分にとって

出すのは平成10年の4月13日。採用の通知が届いたときには、これで社会参加ができる嬉しなくなった。あれから丸10年です。

望月 逆に私はまだ1年目。今、大学生なんですけど、将来、芸術を支える仕事がしたいので応募しました。もちろん間近で公演を見てみたいという気持ちもありましたけど。

成瀬 私も撮影サポーターになれば、いろんなジャンルのものに触れられるんじゃないかと。ヨコシマな考えで恐縮です。(笑)

猪熊 確かにそれはありますよね。サラリーマンだし、舞台の撮影をしたいと思います。でも、それまでそんなチャンスはなかった。よし、これだ！と。全国的に見ても、撮影のボランティアは少ないと思いますよ。

浦山 私の場合は、子どもの都合で外で働くことはできないけれど、社会とはふれあっていたいという思いからやってみたくて思いました。



——実際に活動してみたいかですか。
浦山 私は新聞の切り抜きやダイレクトメールの発送、見学ガイドなどをさせていたのですが、子どもや学校を中心としたネットワークとは違う社会がとても新鮮ですね。

望月 扉を開けるタイミングとか、お客さまの動線への配慮などにもなるほどなあと。でも、開場の際の口上、あれは緊張しますね。お客さまがその日最初に出会うスタッフとしての責任もあるんです。

山田 わかる。年に一度か二度、当番が回ってくるけど、私も最初の数年は電車の中で何度も練習したものです。
安野 とこでみなさん、グラランシップの中で迷ったりしませんか。(笑)

佐藤 とんでもない裏口があったりするからね。(笑)
浦山 見学ガイドでは事前に確認しますよ。会議室の東の扉が開いて富士山が見えるとみんなびつくりしますよね。子どもたちは窓ガラスに吸いつくようにして歓声を上げたり。

——今後、グラランシップにどんなことを期待されますか。
猪熊 館長もおっしゃっていましたが、ここにしかできないことをやってほしいですね。

安野 去年の夏の『音楽の広場』は、まさにそれですね。
浦山 私はオーケストラの中の

望月 私は沼津に住んでいるせいか、それまでグラランシップの情報に敏感ではなかったんですけど、いろんな催事ややっているんだなあと思いました。
猪熊 思っていた以上に安くていいものがありますね。今まで縁のなかった能などを観ることができたのもこの仕事のおかげ。
成瀬 市川亀治郎さんにしろ、白石加代子さんにしろ、昨日今日では追いつかない凄さを感じます。そして、その記録が残ることとは励みでもあります。

望月 私は子どもの頃、このホールでバレエを踊ったことがあったんですけど、そこに今こうして関わっていることがなんだか不思議な気持ちです。

——上山さんは託児室でのサポートですから、残念ながら公演を間近に見たり、他のスタッフの活動の様子をうかがい知る機会はないのですか。
上山 公演によっては託児室のモニターに映していただくこともありますが。そうすると終了時間がわかるので、もうすぐお迎えがくるよ」と声をかけたりできますからね。

佐藤 託児サービスはもっとたくさんの人に利用してもらいたいよね。
上山 なかには(託児サービス

席で聴くことができたが、あれは本当に素晴らしい！
佐藤 サポーターによる自主企画のイベントもどんどん参加者が増えてきましたよ。

上山 私はほかの方と交流する機会が少ないので、楽しく参加させていただいています。
猪熊 今年は10周年の年でもありますから、私たちとしても大いに期待しつつ、しっかり務めを果たしたいと思っています。



佐藤 武司 平常サポーター
「定年から十何年も経っているけど、おかげでいい人生になっているような気がします」



成瀬 勇 撮影サポーター
「毎回、自分なりの思い入れを胸に臨んでいます。苦勞よりも楽しさのほうが大きいですね」



上山 富子 託児サポーター
「大事な命をお預かりしているのに常に緊張感をもちながらもやわらかな対応を心がけています」



猪熊 康夫 撮影サポーター
「記録とはいえ、撮影で関わった10年の意義は大きい。多くを得た10年だったと思います」



「グランシップサポーター」大集合!

新聞の切り抜き・DMの発送ほか、見学ガイドを務める「平常サポーター」81名、催事の際にレセプションとして対応する「イベントサポーター」71名、催事の記録のために写真班として参加する「撮影サポーター」14名、

親御さんが公演などを鑑賞中に託児室にてお子さまをお預かりする「託児サポーター」5名の計171名(男性44名・女性127名)が登録する「グランシップサポーター」。今後ともどうぞよろしく!



READER'S VIEW

●(41号)平田オリザさんの公演のレジメに引き込まれました。本当に文化についてはまだまだ地域格差がありますね。(中略)住んでいた田舎ではコンサートどころか映画も見ませんでした。時間をつくって静岡でぜひ文化芸術に触れてみたいと考えています。
 <大阪府・安藤知明さん>

●クラシック音楽鑑賞が大好きです。唯一の楽しみで子どもを夫にお願いし、一人で出掛けています。これからは有名なピアノリスト、ヴァイオリスト、オーケストラをよんでください。
 <藤枝市・KKさん>

●体が不自由なため。駐車場から歩かなくてはならないと困り、係の方に勇気を出し聞いてみたところ親切に近くの駐車場に入れてくださり感謝しております。
 <静岡市・望月仁美さん>

●Gを久しぶりに見て、楽しく読ませていただきました。館長さんのおっしゃるようにならぬものに出会っていきたく思います。機会があれば自分磨きに出かけたいと思いました。
 <静岡市・渡辺敬子さん>

●日本語を学ぶ時から狂言に興味がありました。いつか野村さんの狂言を見たいですが、今住んでいる所ではなかなかチャンスがありません。なのに3月7日、やっと(???)でも仕事なので(???)またお願いします。
 <伊豆市・オリエンタルさん>

★グランシップおよび本誌「G」に関するご意見・ご感想、お問い合わせなど、皆さまからの御便りをお待ちしています。なお、お寄せいただいたお便りは、本コーナーに転載させていただくこともあります。転載不可の方は、その旨明記の上、お送りください。

Editor's room.....

恒例の「高松宮妃おひなさま展」に併せて、めったに味わえない雅楽と能楽による五人囃子の演奏会、そして観世清和・三郎太、野村萬斎・裕基、能・狂言とも親子共演というこれめったにない顔合わせで、グランシップ10周年記念事業がいよいよ始まりました。そして12月には、初めて静岡県舞台芸術センター「SPAC」と共同制作でオペラ「椿姫」を上演します。

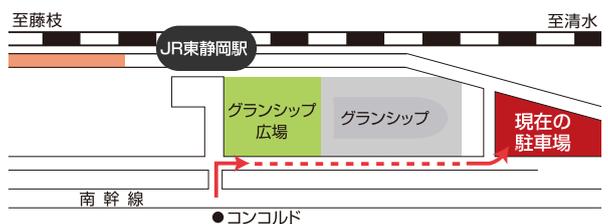
そもそも私が静岡に足しげく通うようになったきっかけは、公立文化施設のあり方の先進的な例として「SPAC」を取材するためでした。「静岡のために是非応援して!」とおっしゃる故山本肇前館長のご紹介で、日本平の舞台芸術公園で初めて鈴木忠志前芸術総監督とお会いし、静岡ならではの施設の素晴らしさ、そして芸術に携わるものの社会責任を再確認する取材ができました。今、国でも劇場や音楽ホールのあるべき姿を目指し、専門家の存在をうたった「劇場法(仮称)」の成立がやっと検討されるようになりました。グランシップマガジン「G」創刊号でサポーターの皆さんと一緒に笑顔の山本前館長の願いが叶う、そんなグランシップを目指したいと改めて思っております。

グランシップ館長 田村 孝子

グランシップにお越しの際は、
 混雑緩和のため、
公共交通機関をご利用ください。



ご注意 〇〇は、橋梁工事のため、平成21年1月13日～平成24年3月下旬まで通行止めとなります。(車両、歩行者共)



●ACCESS/東海道新幹線(ひかり)で東京から1時間、大阪から2時間。JR静岡駅下車。東海道本線でJR東静岡駅まで3分。東静岡駅南口に隣接。